

社会福祉法人 植竹会

平成 2 9 年度事業報告

法人理念

子ども達のゆたかな成長を支援し、高齢者のゆたかな老後を支援する

平成29年度 植竹会事業報告

地域における公益的な取り組みを行い、地域のネットワークづくりに努めた。

○ゆたかごはん（こども食堂に独居老人の参加・多世代交流の場）

（平成29年12月より月1回実施（12/16、1/27、2/24、3/17））

○認知症講座（1/24 豊受小学校4年生 96名）

○認知症サポーター養成講座（2/17、2/24 読売新聞販売店）

○知ってもらおう介護の仕事（県老協事業 11/10 第四中学校1,2年生）

○災害福祉ネットワークへの参加（10/26）

群馬県災害福祉支援チーム員（3/2 ぐんま DWAT 2名登録）

○ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）の事業実施説明会（1/29）

理事会・評議員会

平成29年5月31日（水） 第1回理事会

平成28年度事業報告・決算報告
新役員（理事・監事）の推薦について
定時評議員会の議案について
役員報酬規程について
定款施行細則の一部変更について
経理規程の一部変更について
その他

平成29年6月16日（金） 定時評議員会

平成28年度事業報告・決算報告
報酬規程の承認について
新役員（理事・監事）の選任について
その他

平成29年6月16日（金） 第2回理事会

理事長、業務執行理事の選任について
理事長職務執行状況

平成29年12月18日（土） 第3回理事会

平成29年度補正予算について
就業規則、育児休業規定等の一部変更について
その他

平成30年 3月28日（水） 第4回理事会

平成30年度事業計画（案）
平成30年度予算（案）
平成29年度第2回補正予算（案）
その他

平成29年度 事業報告

ゆたか保育園・ゆたか第二保育園

1) 行事関係

- 4月 入園式・個人面接
 - 5月 交流遠足（年長・春日の里）
 - 6月 内科検診・歯科検診・お泊り保育・保育参観
 - 7月 七夕・納涼祭
 - 8月 プール遊び
 - 9月 老人ホーム交流会
 - 10月 運動会・総合防災訓練参加・ハロウィン施設訪問・年長キッズニア遠足
 - 11月 焼き芋・保育見学（1週間）
 - 12月 餅つき・クリスマス会・発表会
 - 1月 老人ホーム交流会・餅つき（ゆたか第二保育園）
 - 2月 節分・内科検診
 - 3月 ひな祭り・お別れ遠足・年長イチゴ狩り・一日入園・卒園式
- 毎月・・・誕生会・避難訓練・身長体重測定
クラスごとに、老人ホーム・デイサービス・ショートステイ等訪問

2) 食育

前年度と同様、離乳食では、保護者と給食室の連携を図る。栄養士による各年齢に添った食育を実施。手洗い、箸の持ち方、食事のマナーなどは、必要に応じ、年数回行う。お泊り保育では、ハウスより食育の一環として、カレールー及びフルーチェをいただき、調理を自分たちでし、夕食に利用。ゆたか第二保育園では、ハロウィンの行事として、カレー作りを行う。ほか、JAグループよりバケツ稲セットをいただき、年長と老人ホームが連携をして、バケツ稲作り、おにぎりづくりを体験した。給食室と連携し、行事食等も工夫をしながら、おいしく楽しい給食の時間を提供するよう努めた。

アレルギー児に対しては、保護者より生活管理票を提出してもらい、栄養士・看護師・担任・保護者等連携をとり、食器・食事場所等考慮し個別対応を行った。アレルギー対応研修会では、㈱LEOC栄養士より、アレルギーについて研修を行う。

3) 地域・小学校へのかかわり

前年度同様月1回地域のゴミ拾いを行う事で、子ども達がきれいにするという大切さを感じた。加えて、集めたごみを分別する事で、ごみ分別の教育についても合わせて行う事が出来た。ゆたか保育園においては、豊受小学校が隣接していることもあり、園行事で小学校の施設設備をお借りしたり、ハロウィンでは、普段利用させていただいているお礼を兼ね、仮装して訪問をした。ほか、地域の子育て家庭の相談や、園庭の開放なども随時行った。茂呂小学校区にあるゆたか第二保育園では、1学期ごとに1回、交流学习として茂呂小学校の交流にも参加させていただき、また区域内の幼稚園、こども園等の交流もできた。

4) その他

災害福祉支援ネットワークに参加し、ゆたか保育園も水害を想定した避難訓練を行う。一部ゆたか第二保育園に避難し、災害応援を要請する練習等もでき、職員の防災意識を高める事が出来た。

4) 特別保育の実施状況

①ゆたか保育園（1号定員 15名、2.3号定員 120名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	191
保育園	125	127	128	129	131	132	134	133	133	133	135	133	1578

平均在所率 1号認定 106.1% 2.3号認定 109.6%

延長保育事業（標準時間認定） 18時～19時 月平均 4.6名利用
 年間延べ利用者数 746名
 （平成28年度 月平均 5名 延べ776名）

延長保育事業（短時間認定） 7時～8時 16時～19時
 1時間延長 月平均 18.3名
 2時間延長 月平均 15.5名
 3時間延長 月平均 3.5名
 （平成28年度 1時間延長月平均 19.5名）
 （ 2時間延長月平均 14名）

休日保育事業 65日開所 年間延べ利用者数 574名
 （平成28年度実績 年間64日開所 延べ722名）

病児・病後児保育事業（在園児の体調不良児対応型）
 年間延べ利用者数 72名（平成28年度 160名）

病後児保育事業（伊勢崎市補助事業）
 年間延べ利用者数 0名（平成28年度 3名）

一時預かり事業（自主事業）
 年間延べ利用者数 515名（平成28年度 439名）

②ゆたか第二保育園（1号定員 5名、2・3号定員 45名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
幼稚園	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	53
保育園	47	48	47	51	52	50	51	51	51	51	51	49	599

平均在所率 1号認定 88.3% 2.3号認定 110.9%

延長保育事業（8時～11時 自主事業） ほぼ全園児が利用

（早朝 7時～8時） 年間延べ利用者数 766名（平成28年度841名）

（22時～23時） 年間延べ利用者数 625名（平成28年度 654名）

（23時～24時） 年間延べ利用者数 302名（平成28年度 444名）

一時預かり事業（自主事業）

年間延べ利用者数 578名（平成28年度 340名）

ゆたか保育園・ゆたか児童クラブ延長対応

年間延べ利用者数 528名（平成28年度 761名）

5) 資質向上への取り組み

月1回 施設内研修の実施 ゆたか保育園・ゆたか第二保育園・ゆたか児童クラブの職員が担当となり、研修を実施

平成29年度 職員園内研修

	内容	対象者
4月	・ 個別の配慮を必要とする園児についての、情報交換と、アレルギーに対する研修を行う。 ・ 法人職員総会に参加し、植竹会内部の組織、他部署の理解をする。	職員
5月	・ 接遇研修（外部講師）	職員
6月	・ 法人の歴史及び各部署について（自主勉強） ・ プール遊びの注意点及び嘔吐処理の仕方。 ・ 登降園管理勉強会（自主勉強会） ・ ホームページ更新について（自主勉強会） ・ 書類作成についての勉強会（自主勉強会）	職員
7月	・ 夏の感染症についての研修を行う。又、食中毒に関する研修を行う。 ・ 園児の事故・怪我の対応及び事故予防 ・ 自己肯定感について（自主勉強会）	職員 調理担当者
8月	・ 認定こども園教育・保育要領について ・ 防災・防犯について	職員
9月	・ 子育て支援について ・ 冬の感染症について ・ 乳児保育について、咀嚼について	職員
10月	・ スタートカリキュラムについて ・ 気になる子、親について	職員
11月	・ 心肺蘇生等研修	職員
12月	・ 新教育保育要領について理解する。	職員
1月	・ 担任でないクラスを見学し、違う年齢の保育を知る。 ・ 次年度の計画の作成 ・ アレルギー対応研修会	職員
2月	・ 次年度計画の作成	職員
3月	・ 評価反省の作成 ・ 次年度の研修計画・園行事計画の作成	職員

外部研修についても積極的に参加をした。

幼稚園教諭・保育士免許の取得補助

平成29年度 1名

幼稚園免許更新補助

ゆたか保育園 2名

ゆたか第二保育園 1名

6) 苦情・要望

苦情は特になし

要望・質問等

①休日保育及び土曜日の保育利用について 2件

②病児保育利用について 1件

③給食について 1件

保護者の方に説明を行う。

ゆたか児童クラブ

(1) 利用児童数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常時	44	43	41	40	41	27	31	27	26	15	13	27	375
一時	202	189	165	221	257	206	156	199	221	253	315	192	2576
開設	25	27	28	25	25	25	25	26	24	24	24	26	304
利用数	52	50	47	49	51	35	37	35	35	26	26	34	477

平均利用数 39.8人

平成28年平均利用数 45.5人

※常時・・・毎日来る児童

※一時・・・週1日など一時的に利用する児童の延べ人数

※開設・・・1か月の開設日数

※利用数・・・一日平均の利用児童数

(2) 資質向上について

園内研修は、ゆたか保育園・ゆたか第二保育園と合同に行う。

園外研修も積極的に参加し、質の向上を図る

平成29年度 児童クラブ支援員資格取得者 1名

『平成29年度児童クラブ事業報告』

平成29年度 事業報告（支援内容）

ゆたか児童クラブ

1. 支援内容について

A. 放課後児童の健康管理、安全管理、及び情緒の安定について

登園時に子ども一人一人を視診し、状態を把握し、手洗い・うがいを習慣づけられるよう指導を行い、自身の健康管理への意識を高めた。室内、室外の玩具や遊具の点検を毎日行い、怪我のなく過ごせる環境づくりに努めた。危険がないよう子どもが常に視界に入るよう職員の配置を工夫した。子ども一人一人の性格を把握し、その子に合った関わりを行い、信頼関係を築き、安心して過ごせる様配慮することで、情緒の安定へと繋げた。

B. 遊びの活動への意欲と態度の形成について

普段の生活の中で、子どもが興味のある遊びを把握し、職員も加わる事で遊びの発展へと繋げ、遊びへの意欲を高めた。室内遊びだけではなく、室外遊びも積極的に取り入れ、体を動かす楽しさを味わえるよう努めた。また、誕生日会などの行事で、普段では難しいレクリエーションを行い、様々な遊びに触れる事で、遊びへの興味・関心を高める事が出来た。

C. 自主性、社会性及び創造性を培うための指導について

子ども達のやりたいという思いを尊重し、自主的に行動できるよう職員で援助を行い、自主性への発達へつなげる事が出来た。集団生活でのルールや遊びの中でのルールを守るよう指導を行い、社会性を養えるように努めた。季節の行事に応じた製作や、お年寄りへの贈り物を子ども達と作り、創造性を養った。

D. 家庭や地域での遊びの環境づくりに関することについて

児童クラブ周辺の公園や施設、小学校を多く利用し、地域での遊びの環境づくりを意識した。児童クラブでの子ども達の遊びの様子を保護者に伝え、家庭での遊びの様子を聞き、情報交換を積極的に行った。老人ホームや園児との関わりの機会を増やし、様々な人との関わりを持つことが出来た。

2. 支援員等の資質向上への取り組みについて

研修へ参加し、研修で得た情報や学んだことを職員間で共有し、実践するようにした。また、日々子ども達の様子を共有し、記録することで、子どもの情緒や成長に寄り添う接し方を職員全員で考える事で、職員同士の信頼感を深め、歩みを揃えることが出来た。

3. 事業計画の達成度について

職員同士で情報を共有し、共に問題や課題へ向かう事で、事業計画に沿った活動を行う事が出来た。子ども達が経験の中から学び、成長できるよう、職員全員が意識し、互いに高め合う事が出来た。しかし、子ども同士のけんかの際に対応が遅れてしまう事があったので、来年度は、トラブルになる前に対応したい。

『平成29年度 高齢者全体事業報告』

平成29年度 事業報告（高齢部門全体）

平成29年度テーマ 「地域の福祉拠点の役割を担う」

地域福祉の拠点という基本方針のもと、より一層地域包括ケアを見据えた活動に繋がった。2025年の地域の為に、地域住民、地域の社会資源、関係団体等とのネットワーク構築を更に進めるために、情報発信・情報共有の機会を多くした。専門職集団として専門性を積極的に地域へ周知を図る機会にした。今後もより一層法人と地域との信頼関係を構築していきたい。

平成29年度の重点課題の評価

- ・これからの共生社会のために、地域包括ケアを一層進め、地域の各種団体との協働の機会を多くできた。今後も地域住民一人ひとりの参加の機会を多くしていきたい。
- ・利用者のQOL向上に繋げる仕事をするために、家族から入所時や面会時に利用者の生活歴等の情報収集や利用中の様子報告に努め、情報共有を図った。
- ・収支状況の分析から積極的な利用者確保策を進め、稼働率の向上に資することが出来た。月次報告を月初旬の経営会議にて行い、見込まれる数字の確認、その為の対策等の共有を図れた。
- ・職場風土の改善については、職員からの意見や悩み事等の収集に努め、相談体制の構築を図った。離職率の低下が図れた。
- ・人材確保策として高齢者雇用を図り、スポット的就業に努めた。人材育成の為の研修の機会を多くした。（内部研修、外部研修）
- ・介護力向上を目指し、認知症ケア、フィジカルケアの情報共有を図った。
- ・共通理解・共通認識の促進を図った。自分たちの仕事の見える化を進め、情報共有に役立った。
- ・地域貢献事業として、高齢者を含む他世代が集える場をつくり継続できた。

特別養護老人ホームゆたか 事業報告

(ユニット型地域密着型特別養護老人ホームゆたか、ショートステイを含む)

部署結果：利用者の方々が安心して暮らせる場のとなるように環境的な配慮を目指し、安全に快適な生活が送れるように支援していくよう努めた。
離職者ゼロは達成できなかったが、離職率の低下は図れた。

○利用者の快適な生活

利用者の個別性と残存機能を考慮し、その方にとっての快適性を考えての関わりの為に生活歴や趣味趣向等を収集し、家族とも情報共有、情報提供を心掛けた。

○事故の件数低減

介護技術の向上を含め、リスクマネジメントの観点を強化した。起きた事故の分析を多角的に行い、事故防止に役立てられたと考える。

○職員の定着

職場内のコミュニケーションを密にし、悩みや困りごとも含めた相談ができるような職場風土を徐々に整備できた。報告、連絡、相談はまだまだ密に出来ると考える。職員間の関係性を良好に保つような雰囲気作りを今後もする。

○職員の継続的な資質向上

施設内外研修会や勉強会への参加を通し、日常のケアを振り返り、より良い関わりを模索した。共通理解、共通認識の今後も深めていく。

○各フロアの強みの推進

フロアリーダーの情報交換と情報共有は消極的で、4フロアそれぞれの強みを活かしきれなかった。今後も特養全体の介護力向上へ繋げる。

○回想法の取り組み

時代や世相等も含め、道具や映像などを利用した施設内回想法は低調だった。今後も認知症のBPSD軽減に役立てられるようなものとしたい。

○職員主体のレクリエーション

職員各個人のライフワークら趣味趣向を施設内の行事、レクリエーションに取り入れることはできなかった。今後も利用者の張りのある生活を目指す。

委員会報告

○感染事故対策委員会

「介護面ごとのリスクを分析し、的確な安全対策を構築する」という目標については、利用者一人一人の危険リスクを把握し介助に努めました。今後も委員会より同じ事故を繰り返さないように発信していきます。

「利用者・職員の心身ケアを維持する知識を身につける」という目標については、職員研修を定期的に行い感染症の知識の向上に努め、職員一人一人危機感を持ちインフルエンザ発生時も行動を行う事ができました。

○身体拘束ゼロ委員会

1名の身体拘束の対応がありました。委員会を中心に意見を出し合い身体拘束ゼロに向けて取り組んでいます。今後も身体拘束ゼロに向けて取り組むと共に、委員会や研修会で基本的な身体拘束についての知識の周知を継続していきます。

○認知症委員会

委員会を中心に認知症について勉強会を行いました。新任職員に対しても知識の修得につながっていると思います。今後も事例を交えての勉強会やカンファレンスを行い、得た知識を日常の支援に活かしていけるような勉強会を計画していきます。

○介護力向上委員会

「全フロア水分 1500ml 達成率 50%を目指す」については、嚥下機能の低下やインフルエンザの流行等で目標の達成率には届きませんでした。職員の中で水分 1500ml への意識は定着できたと思います。今後も水分強化に努め、嗜好品の提供や提供時間の工夫を継続していきます。

○口腔ケア委員会

「口腔ケアの方法の徹底」については、昨年に続き目標にあげましたが、周知でき実行できていると思います。結果として誤嚥性肺炎での入院者が減少しました。口腔体操も定着してきていますので、今年度も継続していき、口腔内の清潔保持に努めていきます。

○褥瘡予防対策委員会

「褥瘡ゼロを目指し、予防に特化し課題を見つけ早期に対応していく」については、昨年に続き目標にあげ予防に努めましたが、今年度新たに4名の褥瘡の発生がありました。褥瘡ができてからの対応ではなく今後も予防に特化した取り組みを実施していきます。

○リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント・業務改善・喀痰吸引と3つの議題で検討を行いました。

リスクマネジメントでは、認知症利用者への早期の対応の提案、体調変化時などのご家族への事前の連絡等について再検証し、相手の立場・ご家族の立場に立って考え行動していく事を各フロアで共通認識しました。

業務改善では、より働きやすい環境づくりについて検討しました。職員の多様性を再認識し、よい緊張感でよい介護ができるようストレスの感じ方や時間帯について検証。また、腰痛対策としてストレッチの提案や夜勤時間の検討を行いました。

喀痰吸引については、喀痰吸引の必要性のある利用者の検討やヒヤリハットの検討を行いました。

○給食委員会

食事について利用者さんからの意見や要望をとりいれられるよう栄養士・厨房と連携を図り、満足いただける食事の提供につなげていきました。

平成 29 年度委員会・施設内研修実施報告

委員会

- 感染・事故対策委員会（1 回/2 月（偶数月）第 1 水曜日 10：30）
4/5 6/7 7/3 8/2 10/4 12/6 2/7
- 身体拘束ゼロ委員会（1 回/2 月（奇数月）第 1 水曜日 10：30）
5/10 7/5 9/6 11/1 1/10 3/7
- 認知症委員会（1 回/2 月（偶数月）第 2 水曜日 10：30）
4/12 6/14 8/9 10/11 12/13 2/14
- 介護力向上委員会「水分・排泄」（1 回/2 月（奇数月）第 2 水曜日 10：30）
5/17 7/12 9/13 11/8 1/17 3/14
- 口腔ケア委員会（1 回/1 月 最終水曜日 14：00）
4/26 5/31 6/28 7/26 8/30 9/27 10/25 11/29 12/27 1/31 2/28 3/28
- 褥瘡予防対策委員会（1 回/1 月 第 3 水曜日 10：30）
4/19 5/24 6/21 7/19 8/16 9/20 10/18 11/15 12/20 1/24 2/21 3/19
- リスクマネジメント・たん吸引委員会（1 回/2 月（偶数月）第 3 月曜日 10：30）
4/17 6/12 8/7 10/2 12/5
- 給食向上委員会（1 回/1 月 第 1 月曜日 14：00）
4/3 5/1 6/12 7/10 8/14 9/4 10/10 11/13 12/11 1/9 2/6 3/12
- 入所検討委員会（1 回/1 月 第 3 火曜日 15：00）
4/10 4/17 5/8 6/5 7/18 8/22 9/19 10/17 11/21 12/19 1/16 2/20
3/20

全体研修

- 感染症・事故（2 回/年 7 月、10 月）7/27 10/26
- 看取り・身体拘束・リスクマネジメント（1 回/年）3/22
- たん吸引（1 回/年）3/22
- 褥瘡（1 回/年）11/24
- 認知症（2 回/年）6/29 H30.4/12（平成 29 年度分）
- 医務 8/31

会議

- 経営会議（1 回/1 月第 1 月曜日 14：00）
4/7 5/8 6/5 7/7 8/7 9/11 10/2 11/6 12/5 1/9 3/5
- フロア（部署）会議（随時）
6/2（2 階）

○カンファレンス会議

5/26 8/22 10/16 11/13 11/27 12/18 1/16 2/27

○ユニット運営推進会議（1回/2月奇数月第3火曜日）

5/16 7/18 9/19 11/21 1/16 3/20

防災訓練

○防災訓練（2回/1年）8/26 3/22

○水害避難訓練 10/26

地域との交流・訪問事業

○ゆたか祭り 10/14

○伊勢崎市立豊受小学校4年生「認知症講座」 1/24

○伊勢崎市立第四中学校1、2年生「知ってもらおう介護の仕事」 11/10

○長沼本郷町ミニデイサービス 4/20 6/15 8/17 10/19

ボラティア・慰問の受け入れ

○伊勢崎市立第四中学校（チャレンジウィーク）・・・8/29～9/1 9/3

○ゆたか学童クラブ（合唱）・・・8/18 8/21 8/23

○ドレミの会（アコーディオン）・・・4/10 5/23 6/26 7/26 8/20 9/19 10/27

11/14 12/20 1/23 2/15 3/14

○友好グループ・・・4/11 5/9 7/11 9/12 11/14 12/12 2/13

○市川様（ハーモニカ）・・・4/11 4/25 5/9 5/23 6/13 6/27 7/11 7/25 8/8

8/22 9/12 9/26 10/10 10/24 11/14 11/28 12/12

12/26 1/9 1/23 2/13 2/27 3/13 3/27

○傾聴ボランティア・・・4/26 5/24 6/28 7/26 8/11 8/23 9/8 9/27 10/13 10/25

11/22 12/8 12/27 1/12 1/24 2/9 2/28 3/9 3/28

○久保田様・佐藤様・鹿山様（お手玉）・・・4/21 5/19 6/16 7/14 7/21 8/18 9/1 10/20

11/10 12/8 2/9 3/16

○須藤様・丸山様・松本様（傾聴）・・・4/6 4/20 5/18 6/1 7/6 7/20 8/3 8/17 9/7

9/21 10/19 11/2 11/16 12/7 12/21 1/18

2/15 3/1 3/15

○田上様（傾聴）・・・4/6 5/4 5/18 6/15 7/6 7/27 8/17 9/4 10/2 11/6 12/11

12/18 1/15 2/12 3/1 3/15

○飯田様（歌声コンサート）・・・7/26 8/25 9/22 10/20 11/17 12/22 1/19 2/16 3/9

H29年度 特養実績

月		介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	1	1	1	23	25	51
	延べ	30	30	30	628	732	1450
5月	実	1	1		23	25	50
	延べ	30	31		713	752	1526
6月	実	1	1		24	24	50
	延べ	30	30		720	720	1500
7月	実	1	1		24	24	50
	延べ	31	31		744	739	1545
8月	実	1	1		24	24	50
	延べ	31	14		712	744	1501
9月	実	1			23	26	50
	延べ	31			648	745	1424
10月	実	1			25	26	52
	延べ	31			723	740	1494
11月	実	1			24	25	50
	延べ	30			720	750	1500
12月	実	1			26	24	51
	延べ	31			761	722	1514
1月	実	1		1	25	23	50
	延べ	31		31	765	700	1527
2月	実	1		1	26	23	51
	延べ	28		28	661	622	1339
3月	実	1		2	25	22	50
	延べ	31		62	761	682	1536
合計	実	12	5	5	292	291	605
	延べ	365	136	151	8556	8648	17856

H29年度 ユニット実績

月		介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	1	3	2	9	5	20
	延べ	30	90	60	264	150	594
5月	実	1	3	2	9	5	20
	延べ	31	93	62	266	155	607
6月	実	1	2	3	10	4	20
	延べ	30	60	90	294	102	576
7月	実	1	2	3	11	3	20
	延べ	31	62	93	330	93	609
8月	実		3	3	11	3	20
	延べ		93	93	341	93	620
9月	実		3	4	11	3	21
	延べ		90	95	321	90	596
10月	実		3	4	10	3	20
	延べ		93	124	310	93	620
11月	実		3	4	10	3	20
	延べ		90	120	300	87	597
12月	実		3	4	10	3	20
	延べ		93	124	310	76	603
1月	実		3	4	10	3	20
	延べ		93	124	310	73	600
2月	実		3	3	11	2	19
	延べ		84	84	308	56	532
3月	実		3	3	11	2	19
	延べ		93	91	341	62	587
合計	実	4	34	39	123	39	239
	延べ	122	1034	1160	3695	1130	7141

H29年度 ショート実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	1	1	7	10	23	22	5	69
	延べ	30	30	36	168	461	393	103	1221
5月	実	1		6	10	19	24	7	67
	延べ	28		57	146	400	482	168	1281
6月	実			6	11	18	24	8	67
	延べ			39	132	369	504	166	1210
7月	実			5	12	19	23	8	67
	延べ			51	124	417	545	195	1332
8月	実			5	7	18	24	10	64
	延べ			44	108	350	567	262	1331
9月	実			4	8	20	22	12	66
	延べ			39	88	344	526	275	1272
10月	実	1		8	8	20	22	12	71
	延べ	3		53	102	393	488	254	1293
11月	実		1	5	8	20	21	12	67
	延べ		3	28	104	398	448	254	1235
12月	実			3	10	18	21	11	63
	延べ			22	99	407	487	248	1263
1月	実			3	7	17	20	10	57
	延べ			27	96	375	468	248	1214
2月	実			3	11	15	22	10	61
	延べ			28	98	301	489	209	1125
3月	実		1	4	11	15	25	10	66
	延べ		4	46	138	306	595	237	1326
合計	実	3	3	59	113	222	270	115	785
	延べ	61	37	470	1403	4521	5992	2619	15103

ゆたかデイサービス 事業報告

○個別対応の充実

個別的な取り組みは少なかった。利用者の興味や機能を活かして、音楽や制作、体操など5～10人ほどのグループでレクリエーションを多く行った。

車椅子利用者の機械浴槽から一般浴槽利用への取り組みを進めた。体調管理や安定具合を確認し、ADL向上を目指した取り組みを行うことで変更できた事例を今後も参考に役立てる。利用者の生活動作への意識付けにもなる。歩行練習や体操の時間を増やすことで、意欲や体力の向上に繋がれたと考える。

○地域との交流を増やし、連携を深める

認知症の講義や学校訪問等での説明を通じ、地域に出ていく取り組みを行った。自分たちの取り組みを地域住民や団体等に説明をし、今後の協働の機会を目指していくために必要な事であると改めて再確認出来た。

介護者教室等デイサービス利用者ご家族との積極的な情報提供を図る取り組みを推進したい。

○職員の積極的に自己研鑽

施設内外への研修には積極的に参加が出来たと思う。高齢者の方々のスポット的職員採用が出来、業務の効率化を図るために、今後も人材育成に力を入れようとする。

平成 29 年度 行事報告

月	行事名	(評価)
4 月	桜見物	昨年の少人数レクを個別レクとて毎月、対象者を変えて制作、音楽、体操などのテーマで実施した。 効果については明確にはなかったが、参加者の意欲向上や今まで知らなかったご利用者の一面を担当職員が体験したことは、今後の支援に何かの参考になると思われるので、今後も修正を加えながら継続していくことが必要だと思われる。 また、食事関連以外の取り組みを模索し、看護師による健康講話を行い、在宅で行える健康上の注意点や体操を周知したことで、ご利用者に活動するきっかけを作ることができたので、今後も継続していきたいと考えております。
5 月	健康講話	
6 月	おやつビュッフェ	
7 月	流しそうめん	
8 月	納涼祭	
9 月	敬老会	
10 月	ゆたか祭り 運動会	
11 月	おやつバイキング	
12 月	忘年会	
2 月	豆まき	

○H29年度 デイサービス実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	5	7	21	22	10	12	3	80
	延べ	25	44	198	216	90	112	8	693
5月	実	7	10	22	22	9	8	3	81
	延べ	39	107	232	226	90	89	11	794
6月	実	6	9	22	24	12	8	4	85
	延べ	36	69	232	208	96	76	20	737
7月	実	5	8	21	23	12	10	5	84
	延べ	32	68	217	235	111	87	22	772
8月	実	5	9	22	21	13	8	5	83
	延べ	30	68	243	216	115	69	24	765
9月	実	5	9	22	20	14	8	5	83
	延べ	46	87	240	206	125	72	25	801
10月	実	5	8	23	19	15	8	5	83
	延べ	30	60	257	211	132	64	21	775
11月	実	4	11	21	21	14	8	5	84
	延べ	20	108	230	207	124	66	24	779
12月	実	3	11	22	24	14	10	4	88
	延べ	17	78	219	252	111	88	21	786
1月	実	4	11	24	23	13	9	4	88
	延べ	38	77	217	221	114	89	16	772
2月	実	5	11	21	23	13	7	4	84
	延べ	25	77	197	236	112	70	19	736
3月	実	5	12	22	21	13	8	3	84
	延べ	24	94	227	261	145	75	17	843
合計	実	59	116	263	263	152	104	50	1007
	延べ	362	937	2709	2695	1365	957	228	9253

ゆたかホームヘルパーステーション 事業報告

○サービスの質の向上（介護技術を含むスキルの向上）

言葉遣い、態度等利用者が不快にならないように気を付けて接することや介護時の羞恥心や尊厳の配慮をし支援を行った。

○利用者数及び派遣件数の確保

施設内外のケアマネジャーとのコンタクトを多くとり、空き情報やお知らせを伝え、新規利用者の確保に努めた。

○カンファレンスの積極的な開催（経過報告、結果、評価記録の充実）

月一定期的開催にて利用者の問題点。申し送り事項等の話し合いにて、都度利用者の状況等の把握に役立った。

○報告・連絡・相談の充実

申し送りをこまめに行い、一日の業務に支障のないように配慮できた。

○多職種との連携による利用者情報の共有を図る

ケアマネジャー、デイ職員、訪問看護、ケアハウス職員など、速やかな報告連絡相談ができ、利用者への早期対応に役立った。介護者の情報共有も行った。

○H29年度 ヘルパー実績

月		要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
4月	実	4	2	7	4	2	0	1	20
	延べ	20	16	68	46	28	0	44	222
5月	実	6	2	8	4	1	0	1	22
	延べ	25	18	70	44	4	0	47	208
6月	実	6	2	9	5	1	0	1	24
	延べ	36	17	90	42	3	0	44	232
7月	実	5	3	9	6	3	0	1	27
	延べ	31	21	98	49	13	0	44	256
8月	実	5	3	8	5	3	0	1	25
	延べ	39	21	94	62	19	0	47	282
9月	実	5	2	7	5	3	0	1	23
	延べ	42	18	70	67	21	0	45	263
10月	実	5	2	8	5	3	1	1	25
	延べ	45	17	79	84	19	1	42	287
11月	実	5	4	10	5	3	1	1	29
	延べ	41	24	110	76	16	14	44	325
12月	実	5	3	8	5	3	1	1	26
	延べ	43	22	100	76	15	13	47	316
1月	実	5	3	9	5	2	1	1	26
	延べ	39	18	97	66	11	12	42	285
2月	実	4	4	9	5	2	1	1	26
	延べ	32	24	96	68	10	12	44	286
3月	実	5	3	9	6	2	1	1	27
	延べ	41	13	88	108	11	13	48	322
合計	実	60	33	101	60	28	6	12	300
	延べ	434	229	1060	788	170	65	538	3284

ゆたか居宅介護支援事業所 事業報告

総括

○地域の介護支援専門員会議への参加、認知症研修会や地域ミニデイでの講義を担当したり、法人の地域公益活動等も含め、日常のケアマネジメント業務以外の活動も積極的に行えたと考える。それらの活動を通じて、地域の民生員や各種団体等との連携が図れたり、情報提供、情報共有に資することができ、巡り巡ってケアマネジメント業務への展開にも役立っていると思われる。また、行政と介護支援専門員、病院関係者で行った退院調整ルール作りに参加できたことで、今までにない連携の幅の拡大が図れ、今後の居宅介護支援業務へも多くの収穫があったと思われる

○利用者確保の為、病院他事業所への連絡と訪問を行った。今後も定期的に継続していきたいと思う。

○事業所内での事例検討では、利用者ごとに情報交換を行っております。

平成29年度 居宅介護支援(介護予防含)実績

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	9	13	12	10	10	10	10	9	8	9	9	10	119
要支援2	9	12	11	11	12	12	10	15	14	15	15	15	151
介護度1	28	29	31	32	31	31	34	32	32	33	32	32	377
介護度2	21	24	26	25	24	25	25	24	26	25	24	25	294
介護度3	12	12	11	15	14	15	15	15	15	16	16	15	171
介護度4	23	21	19	20	20	19	17	16	17	15	15	16	218
介護度5	5	5	6	6	8	10	9	9	9	10	10	10	97
合計	107	116	116	119	119	122	120	120	121	123	121	123	1427

伊勢崎市地域包括支援センター豊受 事業報告

(伊勢崎市高齢者相談センター豊受)

業務委託2年目であるが、平成29年度も豊受地区の高齢者の総合相談窓口としてより一層機能していたと考える。徐々にセンターの存在と活動内容も知られてきており、日々寄せられる相談等は介護や生活に関するものが主なものであるが、生活困窮や精神疾患等の困難事例も増えている感がある。市の基幹型包括との協働になることもあるが、地元地域の多くの課題が発見でき、安心して暮らせる地域社会づくりのためにこれらの対応事例等も含め、今後も役立てていきたいと考えている。対応している地域課題の普遍化できる部分に関しては、地域ケア会議等を通し、周囲への啓蒙等に活用したいと考える。

○介護予防サービス計画・介護予防ケアマネジメント計画作成及び請求実績

- ・包括支援センター分 (予防給付) 89件、(マネジメント) 115件
- ・委託居宅分 (34事業所) (予防給付) 561件、(マネジメント) 644件

○地域ケア会議

(個別会議) 4/11、6/6、7/10、9/2 (ネットワーク会議) なし

○包括定例会及び職種別定例会

(定例会) 4/17、5/18、6/21、7/18、8/15、9/19、10/17、11/21、12/19、1/19、2/21、3/20

(職種別) 4/21、5/19、6/26、7/21、8/18、9/22、10/20、11/24、12/22、1/19、2/23、3/23

○講演会・研修会・説明会等

- ・地域支え合い懇談会 (4/17) ・地域支え合い懇談会 (5/1)
- ・介護保険制度に関する説明会 (6/13) ・協議体合同説明会 (6/19)
- ・群馬県地域包括、在宅介護支援センター研修大会 (6/26)
- ・豊受圏域協議体 (7/6) ・認知症キャラバンメイト連絡会 (8/7)
- ・地域支え合い懇談会 (8/9) ・成年後見制度研修 (8/21)
- ・コミュニティーソーシャルワーク研修会 (8/24)
- ・介護支援専門員研修会 (8/30) ・認知症地域推進員研修 (8/31、9/1)
- ・介護支援専門員研修 (9/28)
- ・自立支援型ケアマネジメント推進事業研修 (10/27)

- ・伊勢崎市の地域包括を考える集い（11/4） ・地域支え合い懇談会（11/9）
- ・地域支え合い体制作り情報交換会（2/8）
- ・認知症キャラバンメイト連絡会（2/9）

○事業

- ・除ケ町老人会 認知症健康寿命を長くするには（7/7）・羽黒町老人会認知症講話（7/12）・群馬県中央医療生協伊勢崎支部 健康寿命を長くするには（7/19）
- ・認知症の方とのコミュニケーションを考えてみませんか（3/4）
- ・下蓮町ミニデイ、育成会 認知症ってどんなこと？（2/27）
- ・ミニデイ支援（羽黒町、下蓮町は第3土曜日）

○その他

（地域包括ケアを考える会）

4/21、5/20、6/28、7/22、8/18、9/16、10/17、11/4、11/17、12/15、1/20、2/14、3/16

平成29年度 相談対応

●性別

男	125
女	110

●年代別

年齢層	相談数
40歳代	1
50歳代	2
65歳以下	2
65歳以上	23
70歳代	54
80歳代	79
90歳代	24

●町内別

町別	人数	町別	人数
除ヶ町	42	大正寺町	2
羽黒町	40	南千木町	2
馬見塚町	37	深谷市	2
長沼町	29	高崎市	1
富塚町	27	北千木町	1
下蓮町	14	上諏訪町	1
上蓮町	6	連取町	1
国領町	4	飯島町	1
下道寺	3	田部井町	1

●相談者

相談者	人数	相談者	人数
家族	72	伊勢崎警察	2
親族	4	レンタル業者	1
ケアマネジャー	40	アパート大家	1
MSW	27	伊勢崎市役所高齢政策課	1
本人	26	伊勢崎市役所住宅課	1
民生委員	25	保健福祉事務所	1
基幹型包括	9	認知症初期集中支援チーム	1
主治医	4	薬局	1
他圏域包括	3	知人	1

●相談内容(複数回答)

認知症	21	虐待	4
独居	20	癌末	8
退院後の相談	33	家族とのトラブル	5
入所の相談	12	近所とのトラブル	2
サービス利用の相談	18	サービス事業所とのトラブル	3
リハビリ希望	6	ケアマネより支援困難の相談	9
健康不安、体調悪化	43	ひきこもり	5
介護負担	2	ケアマネの変更、不満	3
経済的困難	11	アパート撤去	1
介護保険申請希望	9	庭の蜂の巣	1
徘徊	7	基幹型よりセルフチェック	2
本人の精神疾患	7	ゴミ出し	1
家族の精神疾患	3	新聞が溜まっている	2

社会福祉充実残額

30. 5.21 (10:07)

平成30年 3月31日現在

P- 1

項目		金額
第一号	活用可能な財産	資産
		2,330,879,463
		負債(△)
		438,771,265
		基本金(△)
		212,848,550
		国庫補助金等特別積立金(△)
		653,227,915
	合計(a)	1,026,031,733
第二号	事業用不動産等	
		377,700,567
		財産目録により特定した事業対象不動産等の合計額
		1,563,906,692
		対応基本金(△)
		192,848,550
		国庫補助金等特別積立金(△)
		653,227,915
		対応負債(△)
		340,129,660
	再取得に必要な財産	703,952,083
		将来の建替に必要な費用
		259,888,213
		建替までの間の大規模修繕に必要な費用
		160,455,119
		設備・車輛等の更新に必要な費用
		283,608,751
	必要な運転資金	年間事業活動支出の3月分(年間事業活動支出 × 3 ÷ 経過月数)
		203,174,091
	合計(b)	1,284,826,741
	社会福祉充実残額(a)-(b)	※1万円未満を切り捨て -258,790,000

監査報告書

平成30年5月25日

社会福祉法人 植竹会

理事長 島田 洋子 殿

監事

野村 裕

監事

角張 桂子



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

1. 關於本會之組織及職權，業經本會第一次會員大會通過，並經內政部核准在案。

2. 本會之宗旨，在於研究、改進、推廣、普及、及提高我國之體育事業，以增進國民之健康，並促進社會之福利。

3. 本會之組織，由會員大會、理事會、監事會、及秘書處等組成。

4. 本會之經費，由會員會費、社會捐助、及政府補助等項充之。

5. 本會之辦事處，設於本市中正路一二三號。

6. 本會之第一屆理事會，業經本會第一次會員大會選出，並經內政部核准在案。

7. 本會之第一屆監事會，業經本會第一次會員大會選出，並經內政部核准在案。

8. 本會之秘書處，業經本會第一次會員大會選出，並經內政部核准在案。

9. 本會之會員，分為正式會員、贊助會員、及榮譽會員三種。

10. 本會之正式會員，須具備下列條件：

- (一) 具有中華民國國籍。
- (二) 具有高中以上程度。
- (三) 具有體育方面之專長。
- (四) 具有社會服務經驗。
- (五) 具有良好之信譽。

11. 本會之贊助會員，須具備下列條件：

- (一) 具有中華民國國籍。
- (二) 具有高中以上程度。
- (三) 具有社會服務經驗。
- (四) 具有良好之信譽。

12. 本會之榮譽會員，須具備下列條件：

- (一) 具有中華民國國籍。
- (二) 具有高中以上程度。
- (三) 具有社會服務經驗。
- (四) 具有良好之信譽。
- (五) 具有體育方面之傑出貢獻。

13. 本會之會員，應遵守本會之章程及各項規章制度。

14. 本會之會員，應積極參與本會之各項活動，並為推廣體育事業而努力。

15. 本會之會員，應遵守社會公德，並維護本會之聲譽。

16. 本會之會員，應遵守法律法規，並不得從事任何違法行為。

17. 本會之會員，應遵守本會之決議，並不得有違抗行為。

18. 本會之會員，應遵守本會之紀律，並不得有違紀行為。

19. 本會之會員，應遵守本會之禮儀，並不得有失禮行為。

20. 本會之會員，應遵守本會之其他各項規定。

第 2 号議案：定時評議員会の議案について

(承認を願う事項)

定時評議員会の議案

案

日時

平成 30 年 6 月 14 日 (木)

午前 11 時から

会場

特別養護老人ホームゆたか会議室

議題および議案

・ 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告・決算報告

・

その他 (報告事項)

・ 地域貢献事業等について

(提案理由)

理事長からの提案

